

平成30年度

# 学校経営全体計画

山形市立第四小学校

**関係法規等**

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 同施行令、施行規則
- 新学習指導要領への移行を視野に
- 第6次山形県教育振興計画
- 山形市学校教育の重点目標

**学校教育目標**

つながりのなかで 暮らしをつくる子どもの育成

- ◇心の豊かな子ども
- ◇健康でたくましい子ども
- ◇意欲的に考える子ども

**学校・児童の実態**

- 創立107周年を迎え、受け継がれてきた伝統ある四小教育の理念を継承
- 198名の児童は明るく素直で感性豊かである
- 保護者及び地域は教育への関心が高く協力的である

**めざす学校像**

つながりのなかで 暮らしをつくる学校

**めざす子どもの姿**

**研究主題**  
「つながりのなかで 暮らしをつくる子ども」  
～子どもとくらす 教師の目と問い～

- 心が身のまわりの人・もの・ことに向き、ものの見方を自分なりに更新していく子ども
- 人の役に立つために自分ができることを考えたり、自分の良さを生かしたりしながら、よりよい暮らしをつくっていかうとする子ども

**経営の方針**

- 1 「はじめに子どもありき」という四小教育の理念、基本的な考え方を継承し、具現化するための方策、体制を見直していく。  
◇伝統と文化を大切にしながら、暮らしを創造する学校  
◇社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する学校  
◇学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる学校
- 2 教育活動全般に、生徒指導の3つの機能（共感的な人間関係・自己存在感・自己決定）を働かせるよう教育課程や指導方法を見直していく。
- 3 学校を取り巻く状況の変化を踏まえ、その変化に応じた経営を工夫し、推進する。（新学習指導要領への移行、社会に開かれた教育課程をめざすカリキュラム・マネジメント）  
長い期間で子どもの成長を評価する「評価二期制」に移行

**めざす教師の姿**

- 授業や活動をとおして、「出と待ち」のタイミングを考えながら、子どもと向き合う教師
- 子どもと共に学び、共に汗し、共に歩む教師
- 失敗やトラブルを成長のチャンスと考え、「ピンチをチャンスに変える」構えとスキルをもつ教師
- 同僚性、自律性、切磋琢磨を柱に常に研鑽に努める教師

## 経営の重点

**伝統と文化の継承と創造**

- 三大多行事  
「いちよう運動会」  
「いちよう兄弟体験学習」  
「いちよう音楽会」の活動内容を焦点化し充実を図る。
- クルーズ班活動（タテ）と学級づくり（ヨコ）により交流活動の推進を図る。
- 心をつなぐ「音楽活動」を推進する。

**探究型学習の推進と確かな学力の育成**

- 主体的・協働的な学びによる課題解決学習をとおした深い学びにより、確かな学力を育成する。
- 本に親しむ環境を整備し読書活動の充実を図る。
- 話す、書く、歌う、踊る、つくるなど、多様な表現活動を取り入れた授業づくりを推進する。
- 特別支援教育の視点をもとに、一人ひとりの困り感や課題に応じた教育の推進と、組織的な指導・支援体制の充実を図る。
- 山形市教育委員会委嘱研究（2年次）の推進

**信頼される学校づくり**

- 丁寧な情報提供と細やかな対応で保護者や地域の信頼と期待に応える。
- 地域の行事や活動に積極的に参加し、地域を愛する子どもを育てる。
- 安心安全な環境整備と「防災教育」の積極的な推進を図る。

保護者

地域

**山四小の特色**

四小だからできる教育  
四小だから必要な教育

**<四小だからできる教育>**

- ・「はじめに子どもありき」の教育理念の実現
- ・「全職員で子どもを育てる」意識の醸成
- ・保護者・地域との強い連携
- ・保護者・地域の教育力を活かした学校づくり

**<四小だから必要な教育>**

- ・「四小教育」の推進と発信
- ・四小の伝統・文化の継承と新たな文化の創造
- ・異学年交流の推進